

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年7月31日

上場会社名 株式会社スカパーJSATホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 9412 URL http://skyperfectjsat.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高田 真治  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 仁藤 雅夫 TEL 03-5571-1500  
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月2日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	41,044	5.0	5,210	3.3	5,246	6.6	3,140	△2.7
25年3月期第1四半期	39,086	3.1	5,043	△14.8	4,922	△13.1	3,228	△5.6

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 3,632百万円 (8.4%) 25年3月期第1四半期 3,351百万円 (△7.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	933.04	—
25年3月期第1四半期	959.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	292,473	194,523	66.4	57,679.25
25年3月期	290,486	192,693	66.2	57,133.12

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 194,120百万円 25年3月期 192,282百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	600.00	—	600.00	1,200.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	600.00	—	6.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は平成25年10月1日を効力発生日として1株を100株に分割する株式分割を実施する予定であるため、平成26年3月期(予想)の期末の1株当たり配当金については、株式分割を考慮した金額を記載しております。

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	164,000	2.8	17,000	5.2	16,500	5.1	10,000	3.3	29.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は平成25年10月1日を効力発生日として1株を100株に分割する株式分割を実施する予定であるため、平成26年3月期(予想)の期末の1株当たり当期純利益については、株式分割を考慮した金額を記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期1Q	3,446,037株	25年3月期	3,446,037株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	80,518株	25年3月期	80,518株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期1Q	3,365,519株	25年3月期1Q	3,365,519株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4 「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

当社は、平成25年8月1日に証券アナリスト、機関投資家向けの決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容（音声）については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融緩和や各種経済対策の効果により国内需要が底堅く推移したことに加え、米国を中心に海外経済が回復基調にあり輸出が増加したこと等の理由から、着実に持ち直しております。

このような経済状況の下、当社グループは、有料多チャンネル事業におけるスカパー！サービスを中心とした顧客獲得施策や、スカパー！プレミアムサービスでのハイビジョンを中心としたH.264方式によるサービス（以下「ハイビジョンサービス」）への加入者移行、宇宙・衛星事業における企業・官公庁のBCP（事業継続計画）向けソリューションの提供やグローバルビジネスの強化、移動体衛星通信ビジネスの展開に積極的に取り組むなど、中長期的な成長戦略を着実に推進いたしました。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は次のとおりとなりました。

区 分	前第1四半期 連結累計期間 (百万円)	当第1四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同四半期比 (百万円)	増 減 率 (%)
営 業 収 益	39,086	41,044	1,958	5.0%
営 業 利 益	5,043	5,210	167	3.3%
経 常 利 益	4,922	5,246	323	6.6%
税金等調整前四半期純利益	4,922	5,310	387	7.9%
四 半 期 純 利 益	3,228	3,140	△88	△2.7%

#### ①営業収益

営業収益は、視聴料収入の増加等により、前年同四半期比1,958百万円増の41,044百万円（前年同四半期比5.0%増）となりました。

#### ②営業利益

営業利益は、営業収益が増加した一方で、番組供給料やハイビジョンサービスへの加入者移行費用が増加した影響等により、前年同四半期比167百万円増の5,210百万円（前年同四半期比3.3%増）となりました。

#### ③営業外損益及び経常利益

営業外損益は、営業外収益が前年同四半期比89百万円増の227百万円、営業外費用が前年同四半期比66百万円減の192百万円となり、純額で35百万円の利益となりました。この結果、経常利益は前年同四半期比323百万円増の5,246百万円（前年同四半期比6.6%増）となりました。

#### ④特別損益及び税金等調整前四半期純利益

特別損益は、特別利益が投資有価証券売却益等により74百万円、特別損失が10百万円となったことから、純額で64百万円の利益となりました。この結果、税金等調整前四半期純利益は前年同四半期比387百万円増の5,310百万円（前年同四半期比7.9%増）となりました。

#### ⑤法人税等合計及び四半期純利益

法人税等合計は、過年度に計上した投資有価証券評価損の一部を損金に算入した前年同四半期に比べ485百万円増の2,169百万円となりました。この結果、四半期純利益は前年同四半期比88百万円減の3,140百万円（前年同四半期比2.7%減）となりました。

当社グループのセグメント別の概況は次のとおりです。（業績については、セグメント間の内部営業収益等を含めて記載しております。）

#### <有料多チャンネル事業>

（加入者獲得に向けた取り組み）

加入者獲得の施策として、6月1日から6月10日まで『10日間無料放送』を実施いたしました。前年度の10月、本年2月に引き続き、3回目となる今回の10日間無料放送では、スカパー！ならではの様々なジャンルのラインナップに加え、視聴者の皆様をご覧になりたいと思われる番組ラインナップを提供いたしました。

（「スカパー！プレミアムサービス」のH.264方式への移行）

当社グループは「スカパー！プレミアムサービス」の一部を除くMPEG-2方式による標準画質サービスを平成26年5月に終了することを決定し、標準画質サービスの既存加入者をできるだけ多くハイビジョンサービスに移行させることを最優先課題とし、「スカパー！プレミアムサービス」の維持、拡大を推進しております。

当第1四半期連結累計期間におけるハイビジョンサービスへの移行件数は109,078件、累計加入件数は1,128,260件となりました。この結果、ハイビジョン化率は、前年度末の58.5%から65.9%に増加いたしました。

なお、「スカパー！プレミアムサービス光」では、平成25年6月末にMPEG-2方式による標準画質サービスの放送を終了いたしました。

(ビデオ・オン・デマンドサービスの取り組み)

当社グループのマルチデバイス対応型オンデマンドサービスである「スカパー！オンデマンド」は、引き続き、有料放送加入者基盤を活かした取り組みを行っております。

ご好評いただいている「JリーグLIVE」では、2013シーズンよりJ1・J2全試合をライブ配信し、プロ野球においても、フジテレビONEスポーツ・バラエティ加入者を対象に東京ヤクルトスワローズ主催の公式戦全試合のライブ配信を行うなど、提供コンテンツが増加しております。

(スーパーハイビジョン「4K/8K」放送への取り組み)

総務省による「放送サービスの高度化に関する検討会」において策定されたスーパーハイビジョン（4K/8K）ロードマップを推進するべく、「スカパー！プレミアムサービス」の標準画質サービス終了後に空くトランスポンダ（電波中継器）を利用した4K放送の早期実現に積極的に貢献してまいります。

当第1四半期連結累計期間における加入件数は次のとおりとなりました。

新規加入件数	再加入件数	解約件数	純増数	累計加入件数
131,557件	24,444件	188,491件	△32,490件	3,796,919件

新規加入件数は、前年同四半期比33,433件減の131,557件、解約件数は前年同四半期比15,779件増の188,491件となり、再加入件数を加えた純増数は前年同四半期比49,464件減の△32,490件、累計加入件数は3,796,919件となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の有料多チャンネル事業の業績は次のとおりとなりました。

	前第1四半期 連結累計期間 (百万円)	当第1四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同四半期比 (百万円)	増減率 (%)
営業収益				
外部顧客への営業収益	27,263	29,226	1,963	7.2%
セグメント間の内部営業収益等	1,137	1,179	41	3.6%
計	28,400	30,405	2,004	7.1%
セグメント利益	819	625	△193	△23.6%

営業収益は、視聴料収入の増加等により、前年同四半期比2,004百万円増の30,405百万円（前年同四半期比7.1%増）となりました。セグメント利益は、番組供給料、ハイビジョンサービスへの加入者移行費用が増加したこと等により、前年同四半期比193百万円減の625百万円（前年同四半期比23.6%減）となりました。

#### <宇宙・衛星事業>

(国内BCP需要への対応)

東日本大震災以降、災害対策・事業継続計画（BCP）対策としての衛星通信の評価が再び高まっており、その需要が拡大しております。当社グループは国内BCP需要への対応として、EsBirdやExBird等の衛星ソリューションサービスの積極的な販売を展開しております。

(海外衛星ビジネスの拡大)

衛星需要の旺盛なアジア向けビジネスの強化を目指し、新たな軌道位置を確保するため既存衛星の「JCSAT-4A」を東経124度から東経82度へ、「スーパーパードA3」を東経158度から東経93度へ移動いたしました。

(移動体衛星通信ビジネス)

前年度に引続き、船舶向けインターネット接続サービス「OceanBB」や米国Panasonic Avionics社が提供している航空機内ネット接続サービス「eXConnect」での当社衛星回線利用などにより、移動体衛星通信ビジネスを拡大させております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の宇宙・衛星事業の業績は次のとおりとなりました。

	前第1四半期 連結累計期間 (百万円)	当第1四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同四半期比 (百万円)	増減率 (%)
営業収益				
外部顧客への営業収益	11,822	11,818	△4	0.0%
セグメント間の内部営業収益等	1,622	2,000	377	23.3%
計	13,444	13,818	373	2.8%
セグメント利益	4,376	4,713	336	7.7%

営業収益は、国際サービス収入の増加等により前年同四半期比373百万円増の13,818百万円（前年同四半期比2.8%増）、セグメント利益は前年同四半期比336百万円増の4,713百万円（前年同四半期比7.7%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は292,473百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,986百万円増加いたしました。主な増加は有価証券9,997百万円であり、主な減少は有形固定資産及び無形固定資産の4,870百万円、売掛金2,059百万円、現金及び預金1,261百万円等であります。

### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は97,949百万円となり、前連結会計年度末に比べて156百万円増加いたしました。主な増加は前受収益8,933百万円であり、主な減少は未払金4,125百万円、借入金1,597百万円等であります。

### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における少数株主持分を含めた純資産は194,523百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,830百万円増加いたしました。主な増加は四半期純利益3,140百万円であり、主な減少は剰余金の配当金の支払2,019百万円等であります。また、自己資本比率は66.4%となり、前連結会計年度末と比べて0.2ポイント増加いたしました。

### (キャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益5,310百万円に加え、減価償却費6,369百万円及びのれん償却額219百万円、前受収益の増加8,933百万円等があり、15,938百万円の収入（前年同四半期は13,987百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、長期貸付金の回収による収入1,128百万円、有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出2,879百万円等により、2,456百万円の支出（前年同四半期は4,098百万円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金支払による支出1,937百万円及び長期借入金の返済による支出2,257百万円等により、4,899百万円の支出（前年同四半期は3,482百万円の支出）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ8,735百万円増加し、83,208百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績につきましては、平成25年5月8日公表の「平成25年3月期決算短信」に記載の連結業績予想を変更しておりません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	42,478	41,216
売掛金	19,793	17,734
有価証券	31,994	41,992
番組勘定	3,482	2,829
商品	215	748
貯蔵品	440	520
未収入金	597	363
繰延税金資産	1,354	957
短期貸付金	2,114	2,295
その他	2,676	3,098
貸倒引当金	△715	△688
流動資産合計	104,431	111,068
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,938	11,742
機械装置及び運搬具（純額）	19,757	19,384
通信衛星設備（純額）	100,532	96,953
土地	3,041	3,041
リース資産（純額）	2,623	1,901
建設仮勘定	669	1,207
その他（純額）	3,194	3,231
有形固定資産合計	141,758	137,462
無形固定資産		
のれん	7,970	7,750
ソフトウェア	4,368	4,023
その他	121	111
無形固定資産合計	12,460	11,885
投資その他の資産		
投資有価証券	19,634	20,441
長期貸付金	2,114	1,148
繰延税金資産	7,609	7,860
その他	2,529	2,655
貸倒引当金	△52	△50
投資その他の資産合計	31,835	32,055
固定資産合計	186,055	181,404
資産合計	290,486	292,473

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	783	653
1年内返済予定の長期借入金	12,256	11,863
未払金	15,460	11,335
未払法人税等	2,451	2,083
視聴料預り金	10,233	10,159
賞与引当金	477	235
資産除去債務	300	312
その他	9,365	16,382
流動負債合計	51,329	53,026
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	17,142	15,937
繰延税金負債	892	1,002
退職給付引当金	3,729	3,798
役員退職慰労引当金	6	6
資産除去債務	1,985	1,988
その他	2,707	2,190
固定負債合計	46,463	44,923
負債合計	97,793	97,949
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	158,193	158,193
利益剰余金	27,881	29,228
自己株式	△3,883	△3,883
株主資本合計	192,191	193,538
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	858	623
繰延ヘッジ損益	367	625
為替換算調整勘定	△1,135	△666
その他の包括利益累計額合計	90	582
少数株主持分	410	402
純資産合計	192,693	194,523
負債純資産合計	290,486	292,473



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
営業収益	39,086	41,044
営業原価	25,916	27,142
営業総利益	13,169	13,902
販売費及び一般管理費	8,126	8,691
営業利益	5,043	5,210
営業外収益		
受取利息	90	107
受取配当金	27	31
持分法による投資利益	6	—
為替差益	—	27
その他	14	61
営業外収益合計	138	227
営業外費用		
支払利息	179	156
持分法による投資損失	—	24
為替差損	62	—
その他	16	10
営業外費用合計	258	192
経常利益	4,922	5,246
特別利益		
投資有価証券売却益	—	74
その他	—	0
特別利益合計	—	74
特別損失		
固定資産売却損	—	4
投資有価証券償還損	—	6
特別損失合計	—	10
税金等調整前四半期純利益	4,922	5,310
法人税、住民税及び事業税	1,383	2,105
法人税等調整額	300	63
法人税等合計	1,683	2,169
少数株主損益調整前四半期純利益	3,238	3,141
少数株主利益	10	1
四半期純利益	3,228	3,140

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,238	3,141
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△103	△234
繰延ヘッジ損益	△87	261
為替換算調整勘定	310	468
持分法適用会社に対する持分相当額	△6	△4
その他の包括利益合計	112	491
四半期包括利益	3,351	3,632
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,340	3,631
少数株主に係る四半期包括利益	10	1

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,922	5,310
減価償却費	6,035	6,369
のれん償却額	219	219
受取利息及び受取配当金	△117	△138
支払利息	179	156
持分法による投資損益(△は益)	△6	24
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△74
投資有価証券償還損益(△は益)	—	6
売上債権の増減額(△は増加)	390	2,112
番組勘定の増減額(△は増加)	1,133	652
未収入金の増減額(△は増加)	2,299	233
未払金の増減額(△は減少)	△3,659	△4,127
視聴料預り金の増減額(△は減少)	△1,775	△74
前受収益の増減額(△は減少)	9,236	8,933
その他	△445	△1,253
小計	18,414	18,351
利息及び配当金の受取額	96	102
利息の支払額	△137	△126
法人税等の支払額	△4,385	△2,389
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,987	15,938
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△4,072	△2,495
無形固定資産の取得による支出	△511	△383
投資有価証券の売却及び償還による収入	2	187
関係会社株式の取得による支出	△484	△893
長期貸付金の回収による収入	968	1,128
その他	△1	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,098	△2,456
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△583	△1,031
長期借入れによる収入	—	336
長期借入金の返済による支出	△968	△2,257
配当金の支払額	△1,924	△1,937
少数株主への配当金の支払額	△6	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,482	△4,899
現金及び現金同等物に係る換算差額	113	153
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,519	8,735
現金及び現金同等物の期首残高	66,404	74,472
現金及び現金同等物の四半期末残高	72,924	83,208

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	有料多チャンネル事業	宇宙・衛星事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
営業収益					
外部顧客への営業収益	27,263	11,822	39,086	—	39,086
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	1,137	1,622	2,759	△2,759	—
計	28,400	13,444	41,845	△2,759	39,086
セグメント利益	819	4,376	5,196	△153	5,043

(注1) セグメント利益の調整額△153百万円には、セグメント間取引消去52百万円と、各報告セグメントに配分していない全社費用△205百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	有料多チャンネル事業	宇宙・衛星事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
営業収益					
外部顧客への営業収益	29,226	11,818	41,044	—	41,044
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	1,179	2,000	3,179	△3,179	—
計	30,405	13,818	44,223	△3,179	41,044
セグメント利益	625	4,713	5,339	△128	5,210

(注1) セグメント利益の調整額△128百万円には、セグメント間取引消去62百万円と、各報告セグメントに配分していない全社費用△191百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。